

令和元年度

第2回 公立大学法人山形県立保健医療大学経営審議会 議事録

日 時 令和元年6月27日(木) 14時54分から16時10分まで

場 所 202会議室

出席者 前田理事長、伊藤理事、藤井理事、菅原理事、高橋理事、中山委員

欠席者 内藤理事、三科委員

事務局 佐藤事務局次長、大沢教務学生課長、山田総務企画専門員、田宮総務企画主査

1 開会

2 議事録署名人の指名

- ・審議会議長である前田理事長が、伊藤委員、高橋委員を議事録署名人として指名した。

3 審議事項

(1) 平成30年度決算について

- ・事務局から資料1-1から資料1-3により、30年度決算について説明された。
- ・村山監事から、業務の実施や財務諸表等に特に指摘すべき事項はないという監査結果(資料1-4)が報告された。なお、内部統制システムの整備について、体制の構築及び規程の整備を一層進めるようにとの付帯意見が出された。
- ・質疑が行われ、原案のとおり議決された。

<質疑>

- ①内部統制システムが進んでいないとのことだったが、監査の結果としては大丈夫なのか。
⇒業務方法書が改正されて初年度であり、これから整備していただければよい。
- ②教員宿舎は以前からあったと思うが、今回県からの現物出資された経緯はどういうことか。
⇒教員宿舎は県が借入金により建設したため、建物の所有権は借入先が留保していたが、借入金の償還が終了し所有権が県に移転され、本学へ出資されたものである。

(2) 業務実績報告書①平成30年度 年度計画の実績について

- ・事務局から、資料2-1により説明された。
- ・質疑が行われ、原案のとおり議決された。

<質疑>

- ①日本学術振興会の特別研究員(DC)は県内ではほかに何人いるか。
⇒県内の状況は把握していないが、全国で100名程度であり、公立大学で採用される例も大変少なく、本学の院生が採用されたのは非常に評価されたものと思われる。
- ②小規模病院等看護ブラッシュアッププログラムに52名参加し、うち全科目履修者が8名というのはい多いといえるのか。
⇒本プログラムは120時間のプログラムで働きながら受講するのはなかなか難しく、全科目履修者が8名というの当初の想定を大きく超えるもので、「多い」と判断した。
- ③模擬患者の育成の状況はどうか。
⇒本学では有志の教員が山形模擬患者の会を立ち上げ、養成している。チーム医療論以外の授業にも参加していただき、臨床現場を実感してもらうために積極的に活用しており、他県からも視察に来ている。

(2) 業務実績報告書②中期目標期間見込み業務実績報告書について

- ・伊藤理事から、資料2-2により説明された。
- ・質疑が行われ、原案のとおり議決された。

<質疑>

① Jナースカフェはどこで行われているか。

⇒学内で開催している。小規模病院の看護師の交流を目的と考えてたが、受講者の希望により看護研究等をメインにして実施している。

(3) 令和元年度補正予算について

- ・事務局から、資料3により説明があり、原案のとおり議決された。

4 報告事項

(1) 令和元年度入学者の状況について

- ・事務局から資料4により報告された。

(2) 平成30年度卒業生の状況について

- ・事務局から資料5により報告された。

4 その他

5 閉会

※ 配布資料

- ・資料1-1 平成30年度決算の概要
- ・資料1-2 平成30年度財務諸表(案)
- ・資料1-3 平成30年度決算報告書(案)
- ・資料1-4 平成30年度事業報告書(案)
- ・資料1-5 平成30年度監査報告書
- ・資料2-1 平成30年度 業務実績報告書(案)
- ・資料2-2 中期目標期間見込み業務実績報告書(案)
- ・資料3 令和元年度補正予算(第1号)(案)
- ・資料4 山形県立保健医療大学 令和元年度入学者の状況
- ・資料5 平成30年度国家試験受験状況

以上

議事録署名人

.....

.....

議長

.....